西浦支援学校　中学部における
自立活動

～実態把握から日々の指導・授業実践～

今日の予定

1、自己紹介
2、中学部における自立活動の取り組み
3、教育実践マトリクスについて
4、実践例
5、まとめ

自己紹介

大阪府立西浦支援学校　中学部
樋井一宏（ひのい　かずひろ）

教員歴：１２年目

免許：中・高国語、特別支援学校

趣味：アウトドア

＃特別支援教育が特別じゃなくなる日を

自立活動って？

個々の児童又は生徒が自立を目指し，障害による学習上又は生活上の困難を主 体的に改善・克服するために必要な知識，技能，態度及び習慣を養い，もって心身 の調和的発達の基盤を培う。（文部科学省　特別支援学校中学部　学習指導要領　p199）

苦手なことを
どうすれば（手段や練習）
できれば、自分で

幸せに暮らせるか

➡

なりふり構わず
幸せになる

中学校　支援学級・通級指導教室では？

2 特別な配慮を必要とする生徒への指導

(1) 障害のある生徒などへの指導

ア 障害のある生徒などについては，特別支援学校等の助言又は援助を活用しつつ，個々の生徒の障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫を 組織的かつ計画的に行うものとする。

イ 特別支援学級において実施する特別の教育課程については，次のとおり編成するものとする。

（ア） 障害による学習上又は生活上の困難を克服し自立を図るため，特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す自立活動を取り入れること。

（中略）

（ウ） 障害のある生徒に対して，通級による指導を行い，特別の教育課程を編成する場合には，特別支援学校小学部・中学部学習指導要領第7章に示す自立活動の内容を参考とし，具体的な目標や内容を定め，指導を行うものとする。その際，効果的な指導が行われるよう，各教科等と通級による指 導との関連を図るなど，教師間の連携に努めるものとする。

文部科学省　中学校学習指導要領　p.25　下線は発表者による

自立活動っていつやるの？

日々の生活・時間における指導・各教科

全ての教育活動の中で取り組まれる内容

でも、今回は

本校中学部の自立活動

日々の生活の中で行う指導

・クラス、学年、個人で実施

・各自の目標から
取り組むべき課題を決定

例）更衣、ランニング、歯磨き
ST、朝の会など

時間における指導
（週１コマ　５０分）

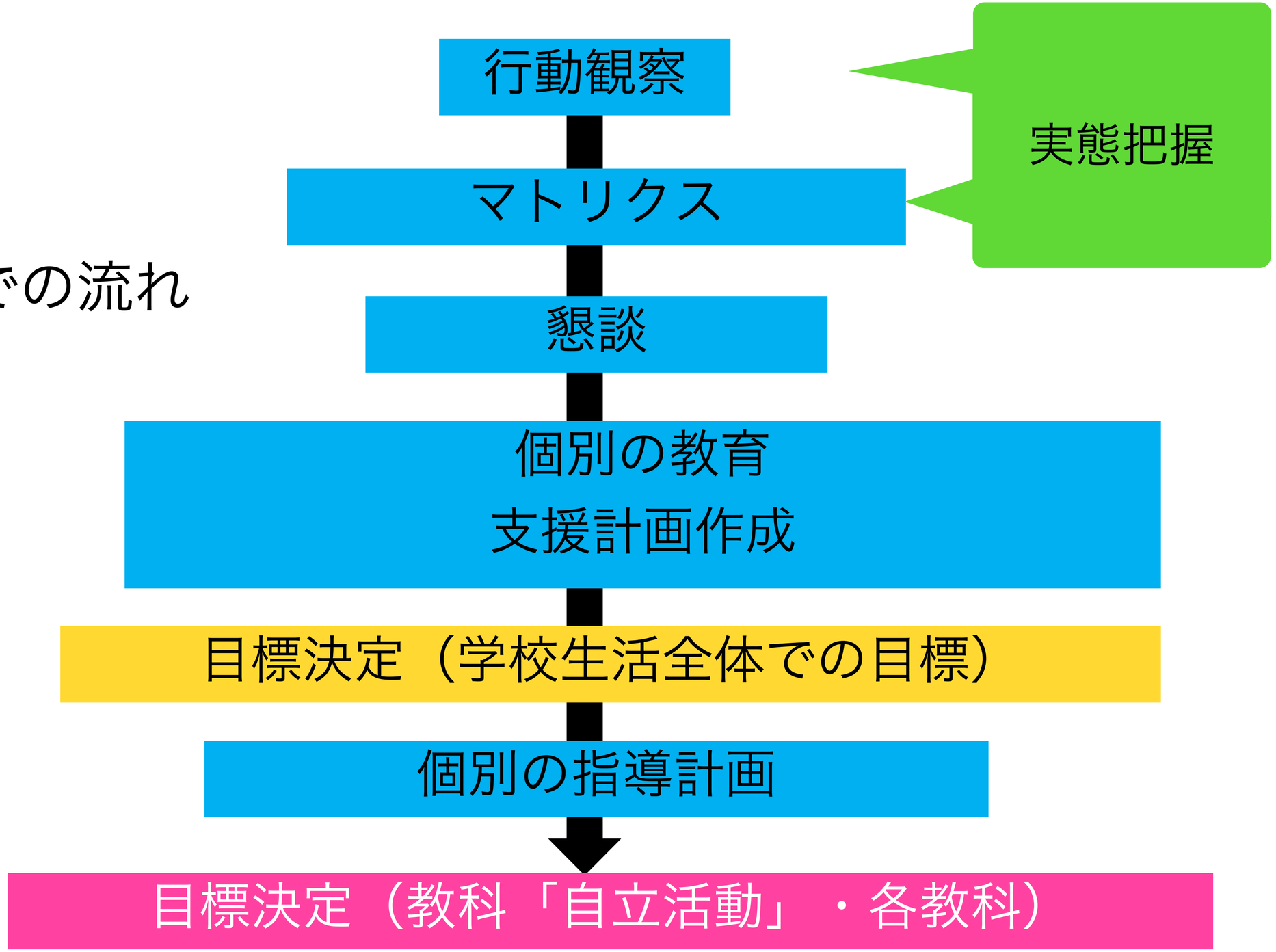
・課題別学習グループを編成
（４グループ展開）

・各自の目標を集め年間を通じて
達成できるように単元計画を行う

例）ストレッチ、FBM、ゲーム、
SST、ビジョントレーニングなど

自立活動

目標決定までの流れ



実態把握

最も重要

子どもたちの様子をよく観察する

何を？

得意なことは？＊仮説
苦手なことは？＊仮説
どんな支援が必要？＊仮説

何をどう考えるか。

1、何に困っているか → どうなって欲しいか

いつ？どんな時？

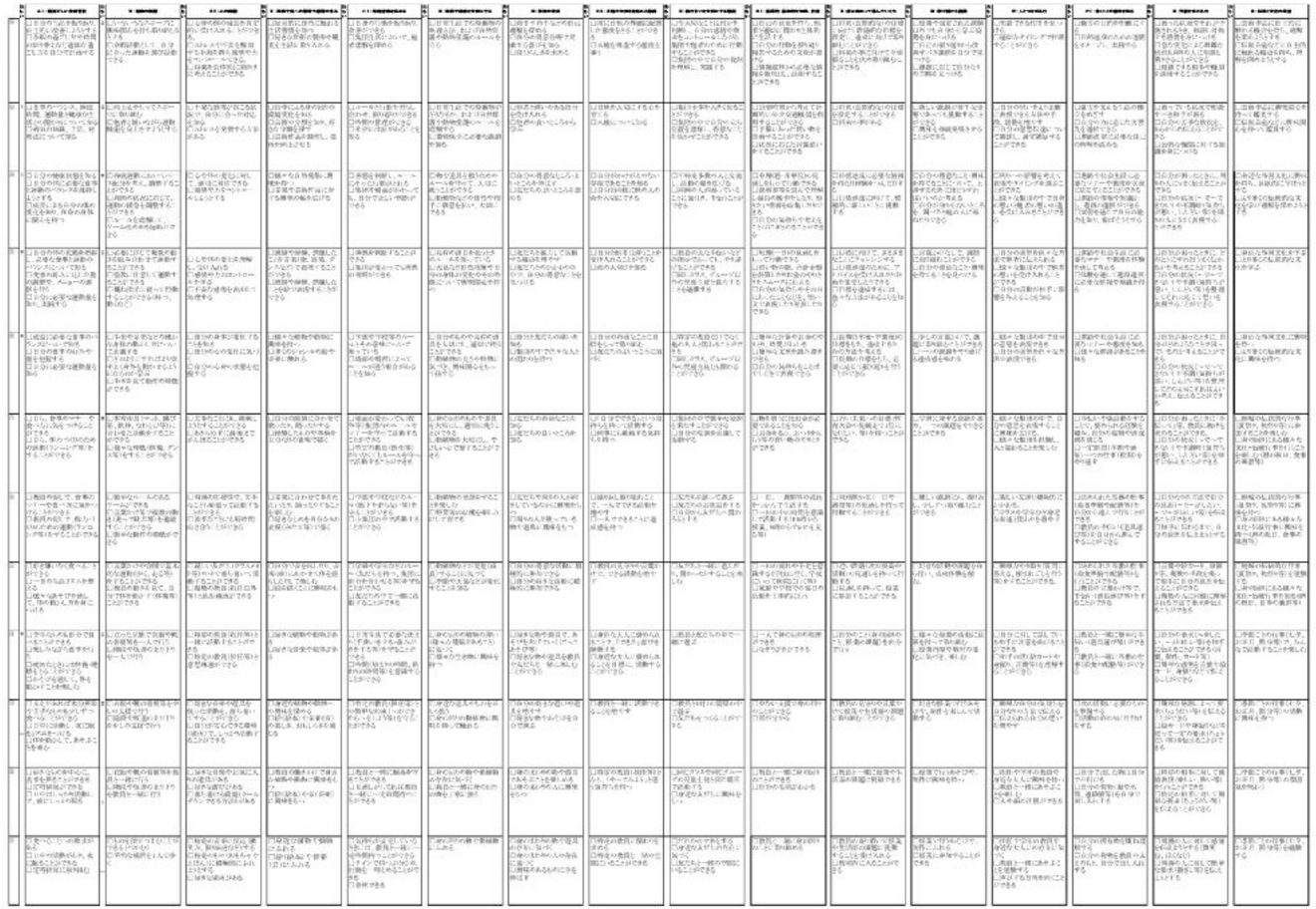
2、なぜか？ → 原因は何が隠れてる？

その子は
それをするとどんな
いいことが？

3、どうすれば良いか？ → 支援の方法

4、やってみよう!! → 実践

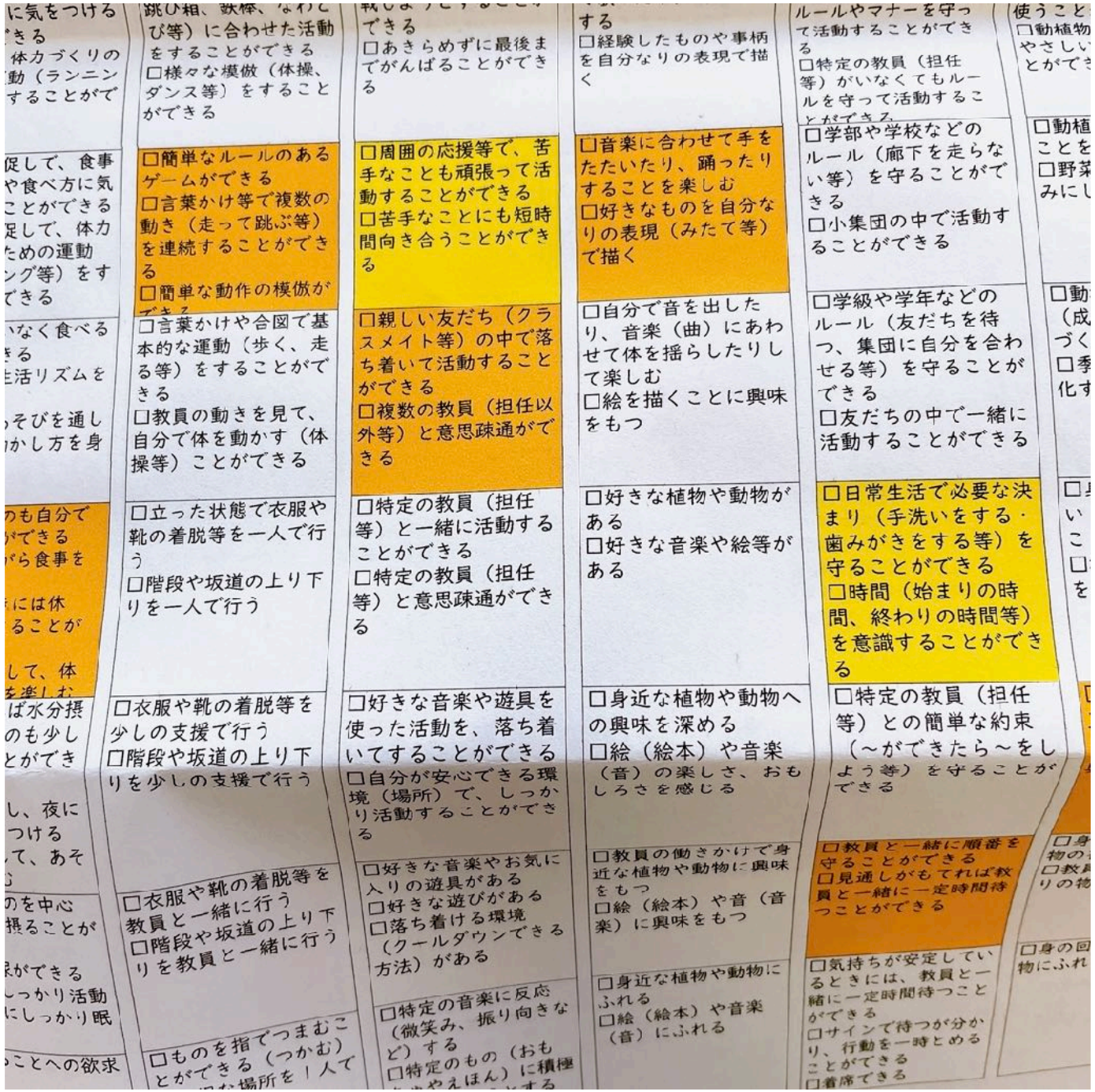
教育実践マトリクスについて



本校独自の
「実態把握」
「課題設定ツール」
「学びの記録」

小中高１２年間で
身につけてほしい力の
「地図」

16の力（横軸）×12段階（縦軸）



学年ごとに塗る色を変えて、
変化を記録

必ずしも上のマスの目標を
狙うものではない

はじめに

POINT!

〇大阪府立西浦支援学校では開校以来、すべての児童・生徒 の

①実態把握　②課題設定　③各教科 授業グループ決定

を 『教育実践マトリクス』を基に行ってきた。

西浦支援学校における
全ての教育活動の基本となる指標

『教育実践マトリクス』作成の経緯

西浦支援学校　開校準備室

《課題》

・複雑化、多様化する児童生徒への教育的ニーズ

・めざす学校像「未来志向型支援学校」の実現

・ベテラン教員の退職、若手教員の増加

・専門性の向上及びその継承

POINT!

教育観点の共通指標

話し合うことの重要性

先生方の経験も得意も違う
自分とは違う角度からの意見を知ること

学び合うことで生徒理解を深める。

教員自身の学びと成長

『教育実践マトリクス』の背景

〇作成にあたって

学習指導要領　キャリアプランニングマトリクス　教員の経験知　各種発達理論など

マズローの欲求５段階

POINT!

児童生徒に小中高12年間で行われる教育活動を網羅できるよう

つけてほしい力の種別を16領域（横軸）、
各領域の具体的な内容を12段階（縦軸）に
分類・整理

教育実践マトリクスとは

〇児童生徒の実態把握ツール

〇児童生徒の課題設定ツール

〇児童生徒の学習グループ決定ツール

引き継ぎ事項を確認の上、行動観察
必要に応じて関係者に聞き取り

↓

マトリクスを基に担任間で相談・共通認識

↓

保護者に提案・相談・修正

↓

POINT!

学年会等で相談の上、学習グループ等決定

アセスメントバッテリー
・行動観察
・聞き取り
・各種検査結果等
・マトリクス

話し合いのためのツール
・教員同士で⇒実態とねらいの共有
・保護者と　⇒ニーズの把握
・関係機関と⇒確実な引き継ぎ、情報共有

入力方法

・ステップ１：行動観察

・ステップ２：プロフィールシート作成

・ステップ３：個人プロフィール確認

・ステップ４：各教科のグループとマトリクス分布を確認

・ステップ５：学習グループを仮決定

・ステップ６：保護者提案

・ステップ７：学習グループ決定

ステップ1　行動観察

・西浦支援学校における実態把握の理念は・・・

教育実践マトリクス

日々の行動観察

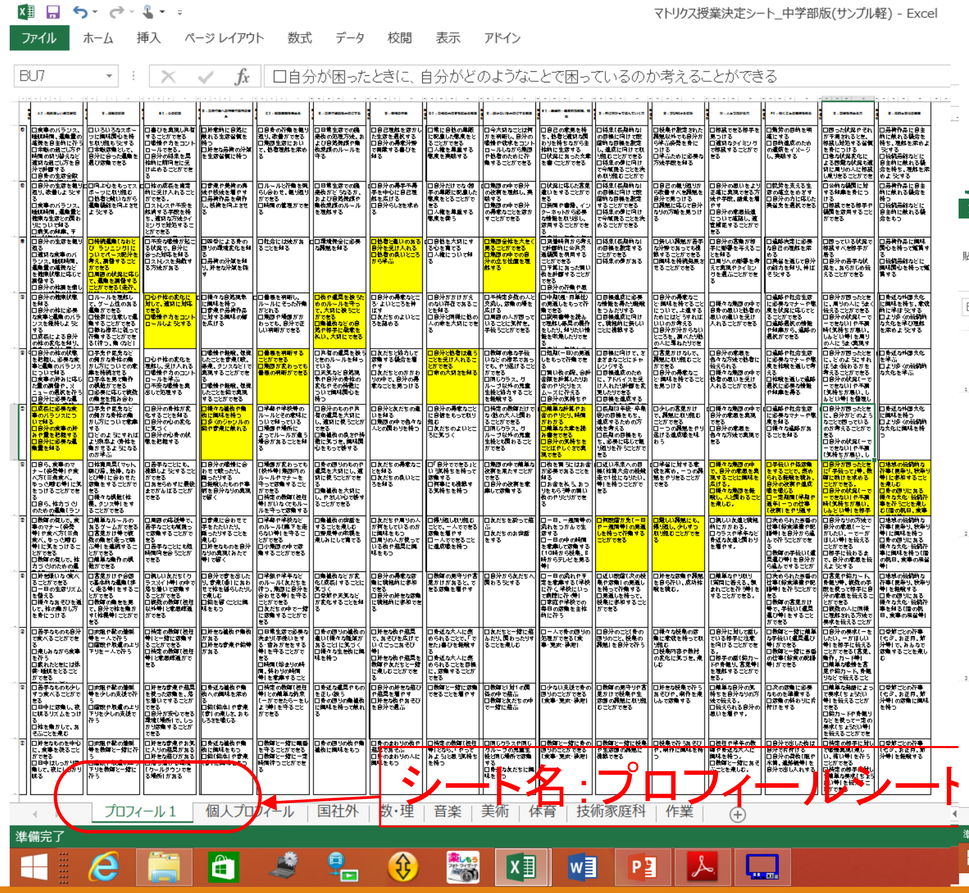
外部機関による
各種検査結果など

保護者などからの
聞き取り

特に重要なのは・・・『日々の行動観察』

ステップ2　②「プロフィールシート」作成

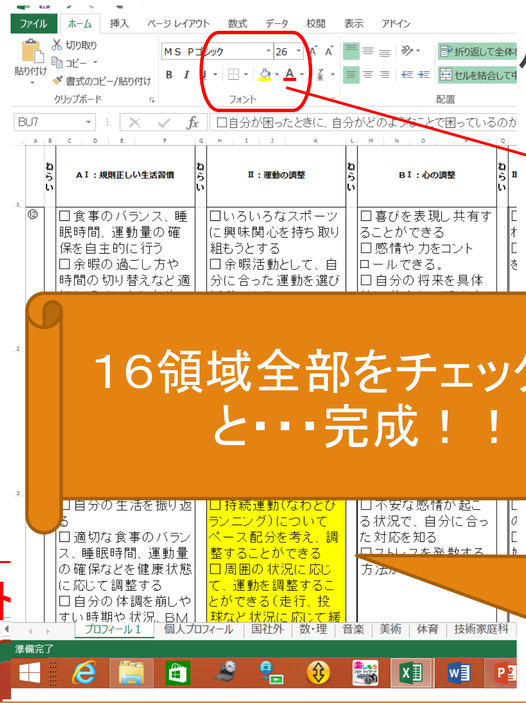
『マトリクス授業決定シート〇〇学部版』（エクセル）を開き、『実態』を記入する。



各領域の**チェック項目**を見て、

『実態』決める。高すぎる→一つ下のセルをチェック

低すぎる→一つ上のセルをチェック



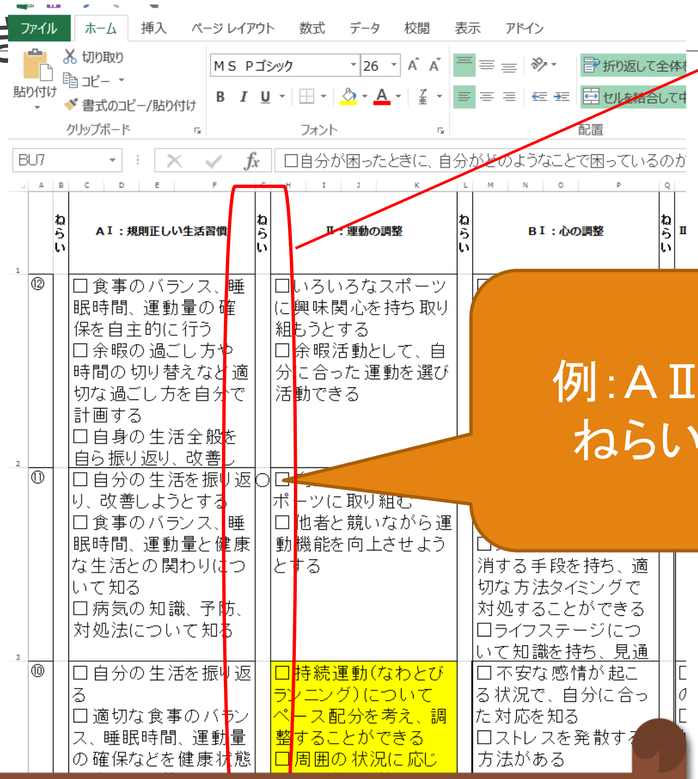
このマークをクリック

16領域全部をチェックすると･･･完成！！

例：AⅡの⑩が実態の時

ステップ2　②「プロフィールシート」作成

次は『ねらい』



各領域　左隣「ねらい」欄に○をつける

例：AⅡの実態は⑩
ねらいは⑪のとき

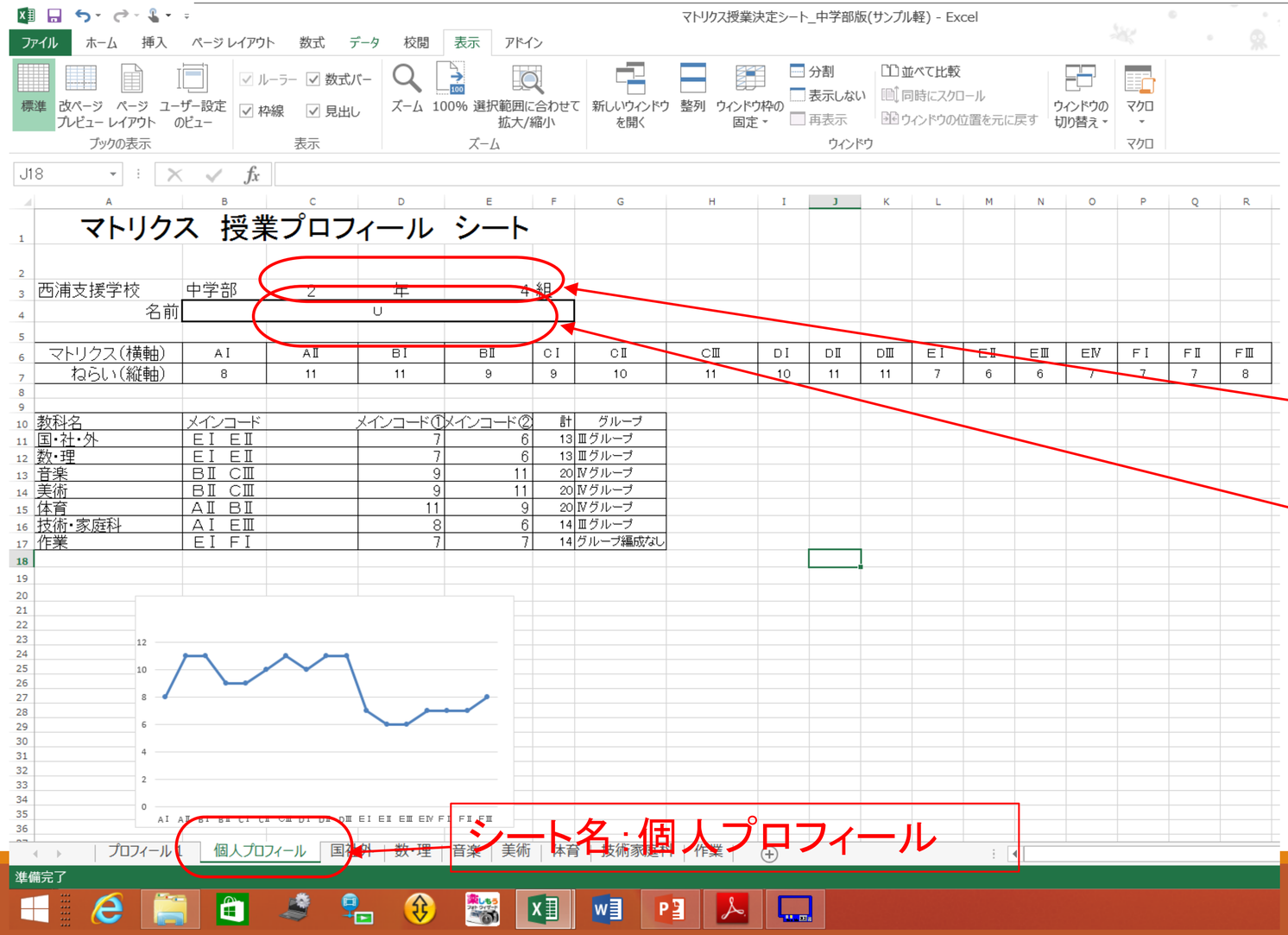
16領域全部をチェックすると・・・完成！！

ポイント！！

児童・生徒の「実態」「ねらい」を決める時は、
担任間でよく相談してください！！

・ステップ3 「個人プロフィール」作成

・「プロフィールシート」が完成したら・・・・　次は『個人プロフィール』



ステップ2まで終わると・・・
数値が自動的に
記入されている！！

①学年・組を入力

②名前を入力

ここまでの目安所要時間
1人　約20～30分

ステップ4　各教科のグループと マトリクス分布を確認

個人プロフィールが完成したら・・・
各教科の学習グループと
それぞれの教科の力を見てみよう！！

各教科の
学習グループ

シート名：個人プロフィール

シート切替

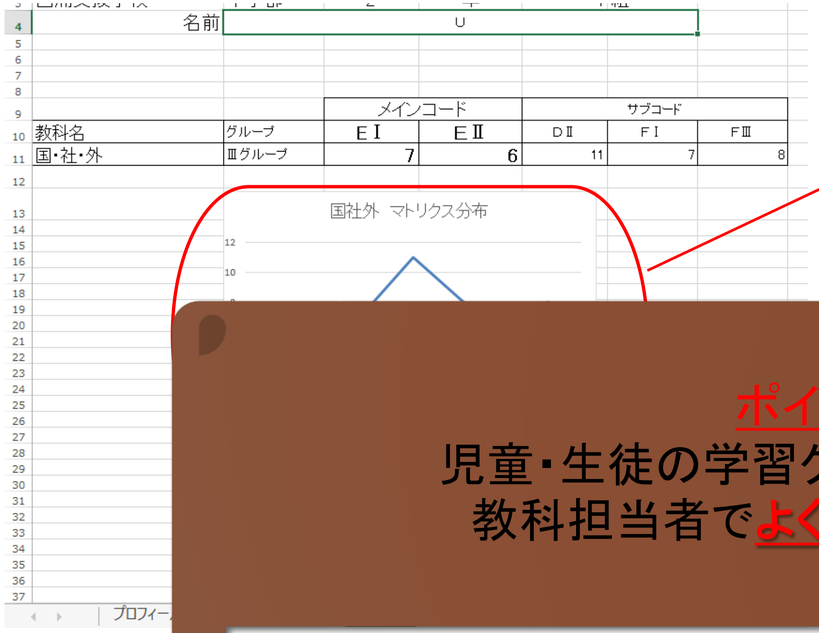
シート名：国・社・外

・ステップ5　学習グループ仮決定

〇全員の個人プロフィールが完成したら・・・

①教科担当者でグループのメンバーを確認

②人数や児童生徒間の関係、授業内容を考慮してグループを編成→仮決定

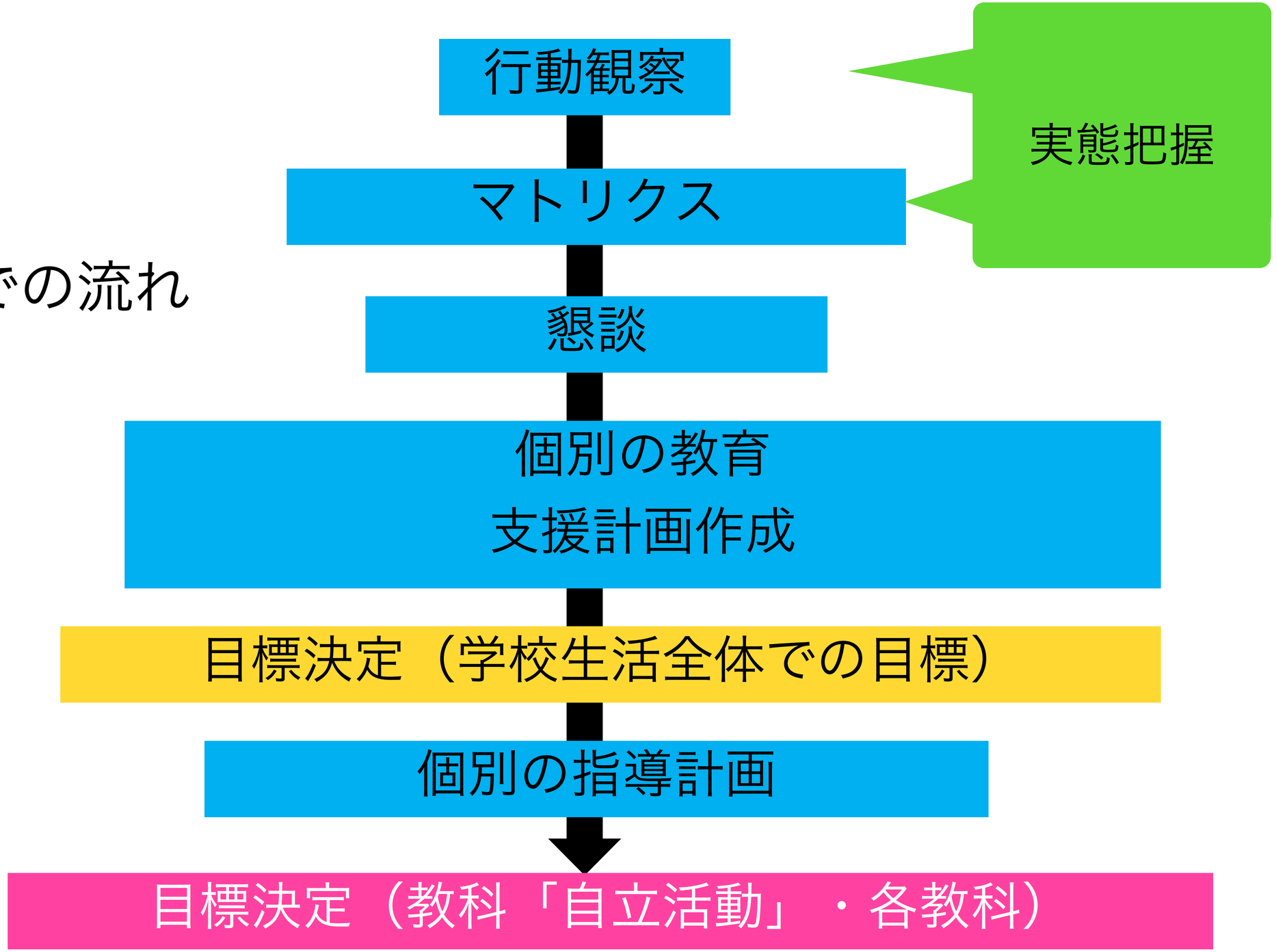


グループの変更は
各領域の上り下がりをチェック
極端に高いものがある→軽度グループ検討
極端に低いものがある→重度グループ検討

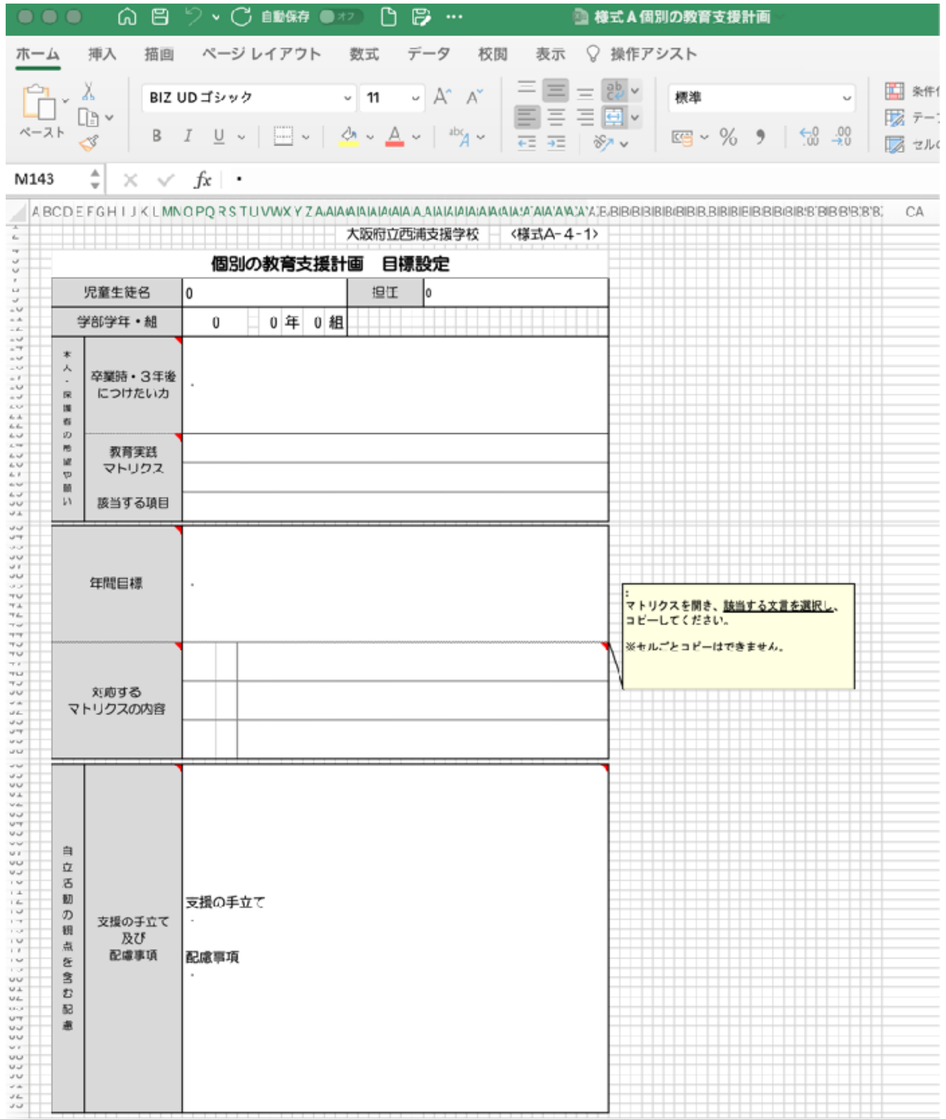
ポイント！！
児童・生徒の学習グループを決める時は、
教科担当者でよく相談してください！！

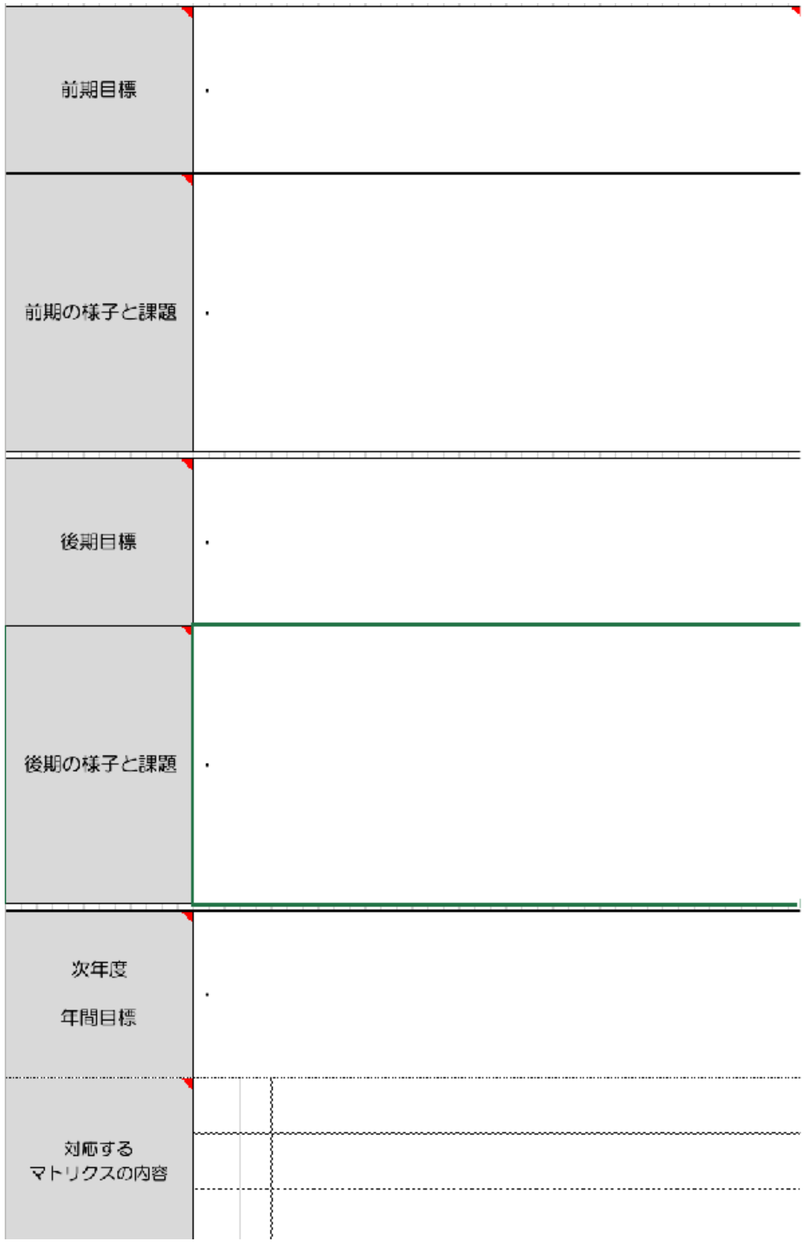
自立活動

目標決定までの流れ



個別の教育支援計画


様式A個別の教育支援計画
ホーム
挿入
描画
ページレイアウト
数式
データ
校閲
表示
操作アシスト
BIZ UDゴシック
11
標準
M143
大阪府立西浦支援学校
<様式A-4-1>
個別の教育支援計画　目標設定
児童生徒名
担任
学部学年・組
年
組
本人・保護者の希望や願い
卒業時・3年後につけたい力
教育実践マトリクス
該当する項目
年間目標
対応するマトリクスの内容
マトリクスを開き、該当する文言を選択し、コピーしてください。
※セルごとコピーはできません。
自立活動の観点を含む配慮
支援の手立て及び配慮事項
支援の手立て
配慮事項


前期目標
前期の様子と課題
後期目標
後期の様子と課題
次年度
年間目標
対応するマトリクスの内容

個別の教育支援計画

本人・保護者の希望や願い	卒業時・3年後につけたい力	・自分が得意なことは何か知る。 ・将来の仕事について得意な分野は何があるのか知ることができる。
	教育実践マトリクス該当する項目	CⅢ：個性の伸長 FⅠ：働くことの意味を知る
年間目標		・筆談等を使用したコミュニケーション面の向上。 ・誰にでも伝わるような文字、文章を意識する。
対応するマトリクスの内容	EⅣ ⑧	様々な集団の中で自分の意思を表現できる 自分の意思を色々な方法で表現できる
	EⅠ ⑧	簡単な文章を読み書きできる 自分の気持ちをことばやしぐさで表現できる
自立活動の観点を含む配慮事項	支援の手立て及び配慮事項	支援の手立て ・予定表を示したり教員から連絡を伝えたりし、持ち物や活動場所をわかりやすく提示する。 ・選択肢を提示したり「はい」「いいえ」で答えられる質問をしたりする。 ・宿題等を通じて文字の練習を行い、誰にでもわかりやすい文字を書けるように支援する。使用するノートはマス目のあるものにし、見やすさを意識する。 配慮事項 ・言葉で意思表示するのが難しい場合は、筆談やタブレットを使用する。

個別の教育支援計画

本人、保護者の願い

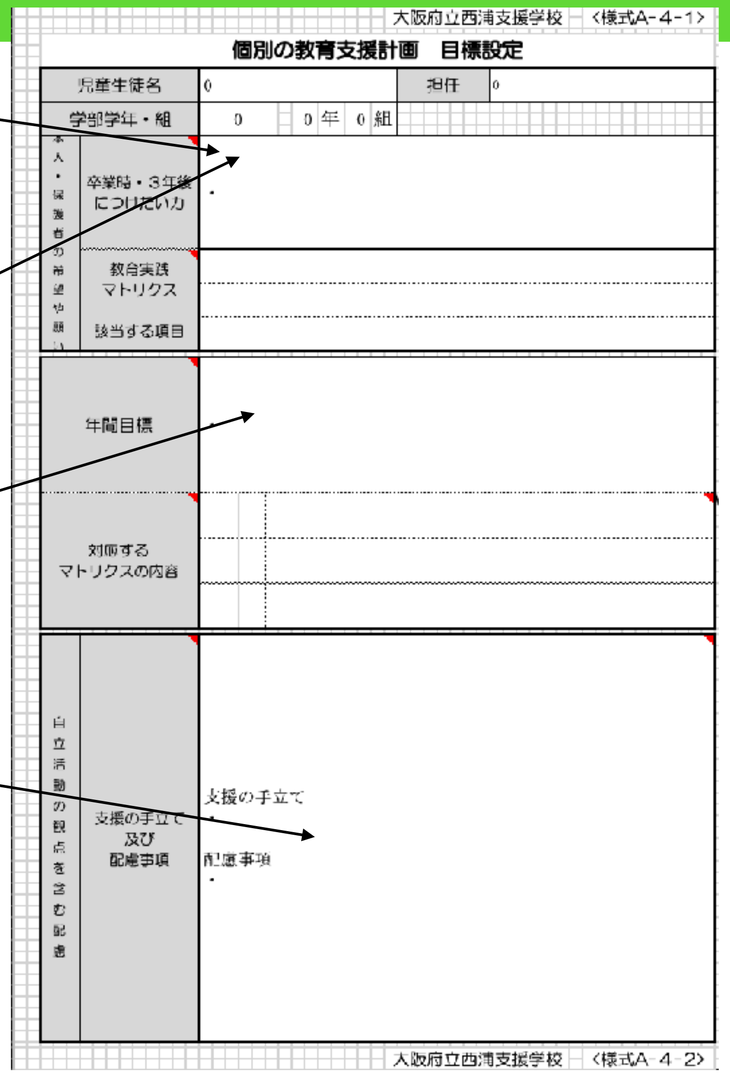
どんな未来をめざすか？

望む未来から逆算する

そのために必要な支援は？

3年後→1年後→半年後

目標



大阪府立西浦支援学校　〈様式A-4-1〉

個別の教育支援計画　目標設定

児童生徒名	0	担任	0
学部学年・組	0　0年　0組		
本人・保護者の希望や願い	卒業時・3年後につけたい力		
	教育実践マトリクス 該当する項目		
年間目標			
対応するマトリクスの内容			
自立活動の観点を含む配慮	支援の手立て及び配慮事項	支援の手立て 配慮事項	

大阪府立西浦支援学校　〈様式A-4-2〉

大阪府立西淀支援学校　〈様式A-4-1〉

個別の教育支援計画　目標設定

児童生徒名	0	担任	0
学部学年・組	0　0年　0組		

本人・保護者の希望や願い	卒業時・3年後につけたい力	・
	教育実践マトリクス該当する項目	
年間目標		・
対応するマトリクスの内容		
自立活動の観点を含む配慮	支援の手立て及び配慮事項	支援の手立て ・ 配慮事項 ・

適切なコミュニケーションを取ることができる

自分の経験したことを伝えることができる

3年後→1年後→半年後

目標

タブレットまたは紙による筆談でコミュニケーションをとる

発表は自席で行うなど発表の環境に配慮する。

大阪府立西淀支援学校　〈様式A-4-2〉

前期目標	・
前期の様子と課題	・
後期目標	・
後期の様子と課題	・
次年度年間目標	・
対応するマトリクスの内容	

担任に授業で学習したことを伝えることができる

帰りの会で学習したことを伝えることができる

個別の指導計画

支援計画の内容
各教科の指導計画に
連携させる

座番号	学部	中学部
21104	講座名	国語
	グループ	4
	段階	小学部3段階
	担当者	樋井　一宏

読込ボタン　保存ボタン

生徒番号	学部	年	組	児童生徒名	8 参考（教育支援計画） 年間目標	支援の手立て	9 指導計画のみ シラバスのある教科　重点目標 ※プルダウン選択
[redacted]	中学部	2	[redacted]		・困ったときに、動作や言葉で伝えられるようになる。 ・授業の準備や移動を自分から行えるようになる。	支援の手立て ・周りへの支援が必要な時には、どのような言い方をすればよいかを伝える。返答の場面では、選択肢を提示し自分で選ぶことから、少しずつ自分で考えた意見を伝えられるように移行する。促しの言葉かけを減らし、できるだけ見守りの中で、自分で考える時間を設ける。 ・時間割を元に活動内容を事前に予告し、見通しが持てるようにする。 配慮事項 ・両上肢・体幹機能障害のため、ウォー	ア 出来事など話の大体を聞き取っている。 イ 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。 ウ 絵本や易しい読み物などを読み、理解しようとしている。
[redacted]	中学部	2	[redacted]		・日常の基本動作（手を洗う、歯をみがく、衣服を正しく着るなど）の重要性を理解し、正確に行う。	・ある程度は本人の自主性にまかせ、しっかり見守る。服装の乱れが顕著なときや、手洗いや歯磨きが必要なのにあきらかに失念しているときには適宜言葉かけをして、好ましい生活習慣の大切さがわかるようにする。	ア 出来事など話の大体を聞き取っている。 イ 絵本や易しい読み物などを読み、時間的な順序など内容の大体を捉えている。 ウ 絵本や易しい読み物などを読み、理解しようとしている。
						支援の手立て ・クールダウンできる時間を確保し、教員	ア

授業

＊２つの柱

教科の力

・各教科の学習内容
「国語」
「数学」
「社会」
「音楽」
など

←教科を教える

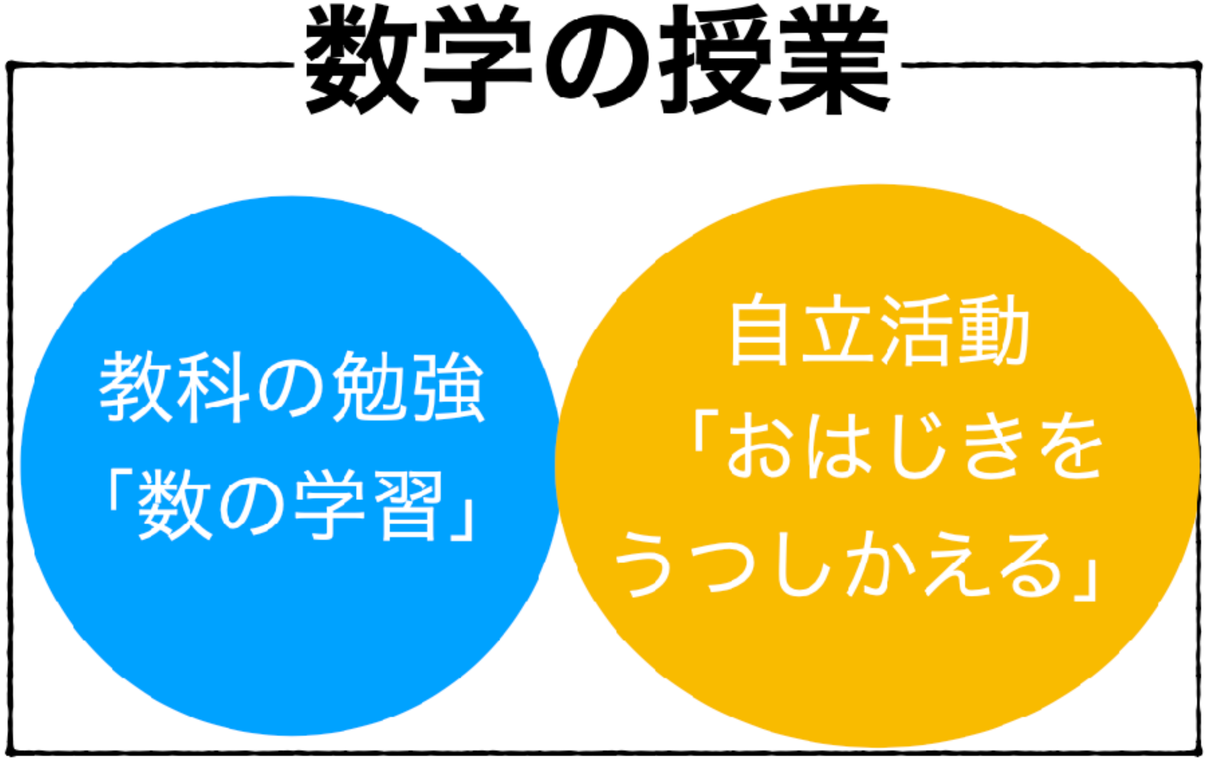
教科で教える→

自立活動

・得意を活かし
苦手を補いよりよく生きる力
「指先の器用さ」
「コミュニケーション」
「精神的な安定」
など

授業でつけて欲しい力

教科の勉強＋自立活動



教科を教える　　教科で教える

具体例

「１０」の大きさ

教科の力

・１０という数の理解

自立活動

・指先の器用さ

（目でみて、ねらって指でつまむ）

ビーズを卵パックにつまんでうつす

＊ビーズの大きさを変える

お箸でつまむ

目でみてわかる

実践例（日々の生活の中で行う指導）

- 更衣（服をたたむ　服装を整える）

- ランニング（運動習慣　体調管理　周回数を数える）

- キャスターボード（体の使い方　運動　ルール）

- ストレッチ（体の使い方　模倣　健康　過緊張）
- 筋トレ（体の使い方　体幹の強化　模倣）

実践例（日々の生活の中で行う指導）

- そうじ（清潔　道具の使い方　友達との協力　体幹）
  ＊何を使うか、なぜ使うか

- コミュニケーション（筆談、ジェスチャー、絵カード）
  ＊方法、相手、内容、振る舞いを広げる

- STなど

西浦支援学校　地域支援チャンネル

- ストレッチ

- 筋トレ

- ST

実践例（時間における指導）

苦手なことを知る

得意なことを知る

どうすれば、できるか？

何があればできるか？

自分で選べるようになったら

嬉しい

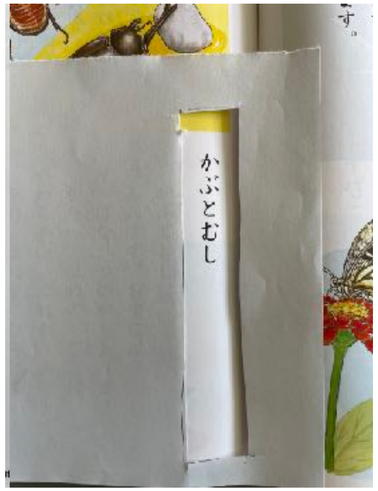
特別支援教育における
読み・書き・話す・聞くに
関する指導

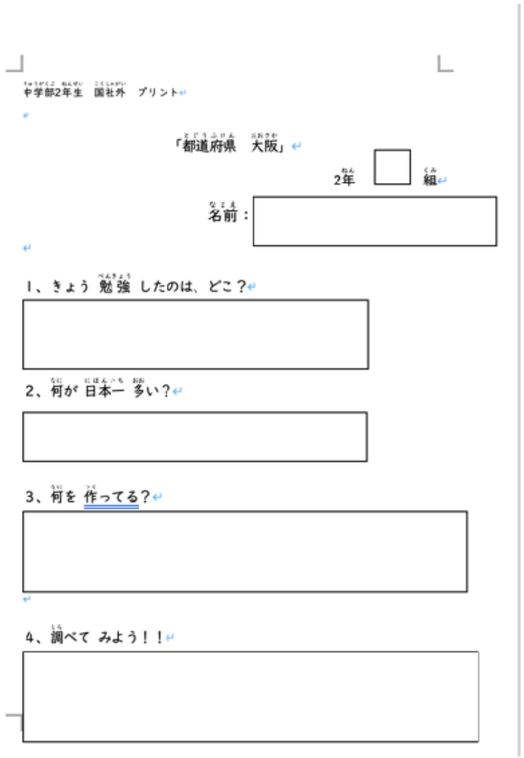
特別支援教育における
読み・書き・話す・聞くに
関する指導

読むことに課題のある生徒

- フォントの見やすさ　　さ　さ　さ

- わかち書き　行間による見やすさ




中学部2年生　国社外　プリント

「都道府県　大阪」

2年　　組

名前：

1、きょう 勉強 したのは、どこ？

2、何が 日本一 多い？

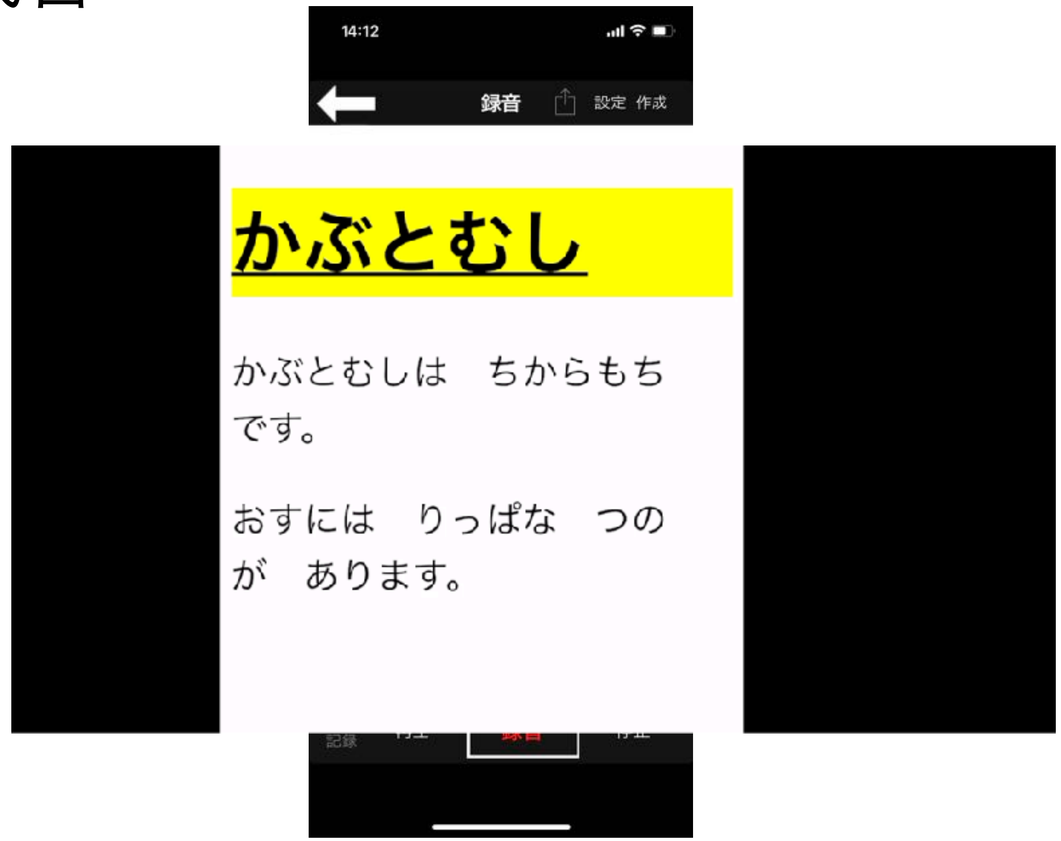
3、何を 作ってる？

4、調べて みよう！！

- 読むところ以外の情報を遮断することで見やすくなる

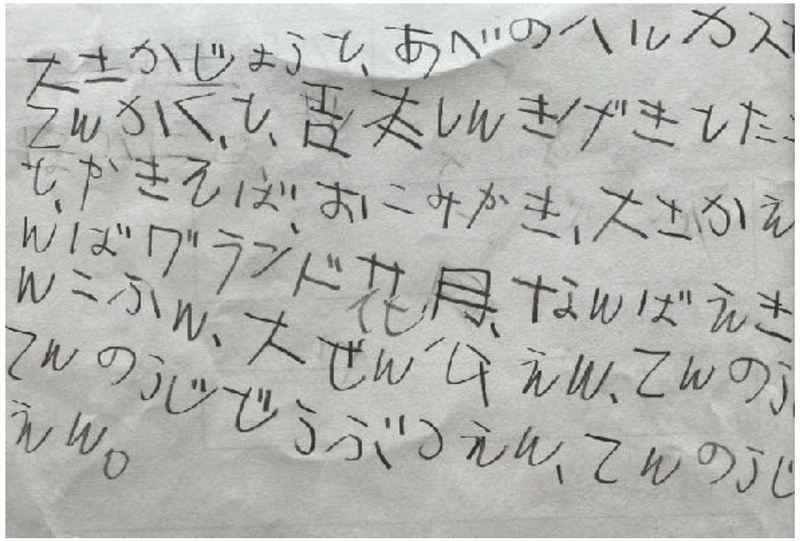
例えばICT機器を活用して

- 読み上げアプリ、音声教科書による代替



書くことに課題のある生徒

- 文字がまっすぐに並ばない



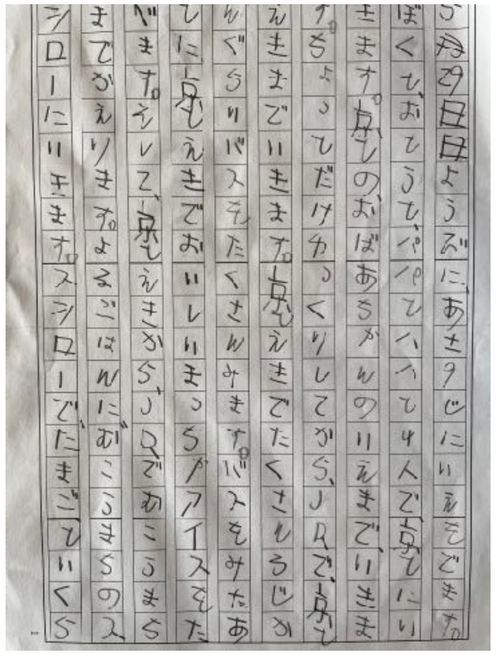
- 字形が捉えにくい

- 漢字で書きたいけれど・・・

自立活動の例

- 目と手の協応のトレーニング

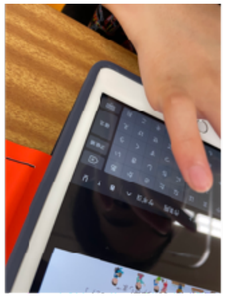
- 縦書きか横書きか



- マスの大きさ、ガイドの使用

- それでもダメなら、タブレットによる入力

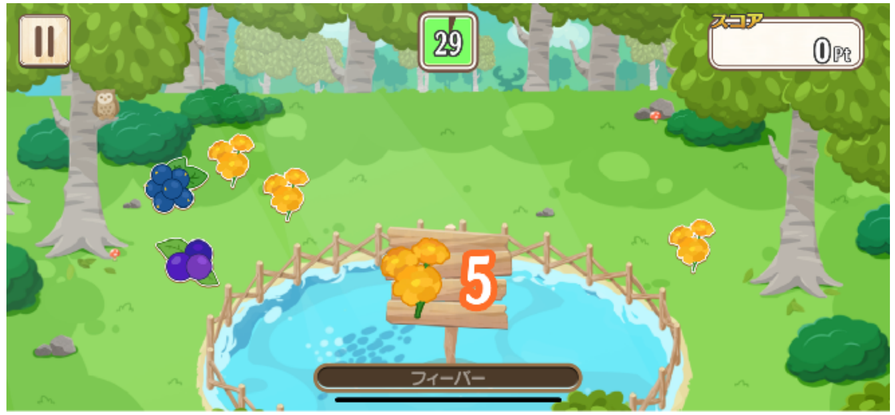
50音、ローマ字、音声、フリック



50音入力

キーボードで
ローマ字入力

例えばビジョントレーニングも



- 集中力を高めるために、授業の最初に帯で
- 友だちや先生と競争したり
- 自分の記録に挑戦したり
- 応援するのも自立活動

話すことに課題のある生徒

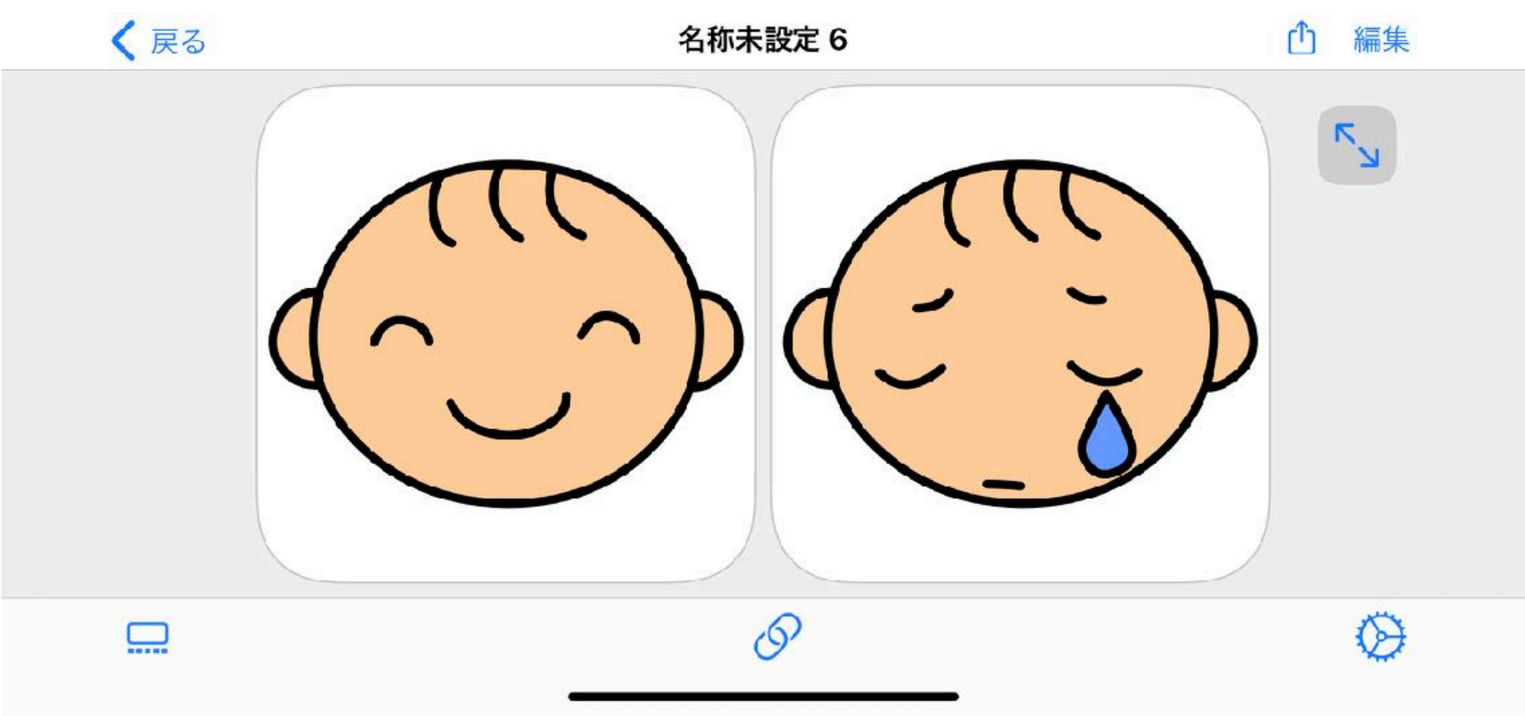
- 認知的に言語の理解が難しい

- 言語は獲得しているが、身体機能的に発音（発声）が難しい

- 言語も獲得しており、発音にも困難さはないが、精神的に発声が難しい（緘黙・場面緘黙）

認知的に言語の理解が難しい

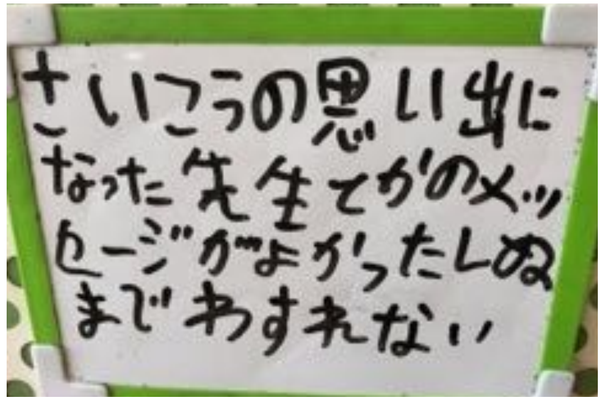
- 絵カード、ジェスチャーなどで代替

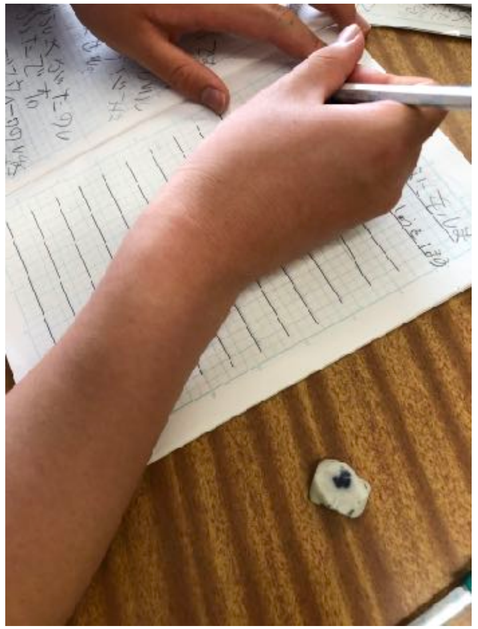


身体機能的に難しい

- ST（言語聴覚士）によるトレーニング

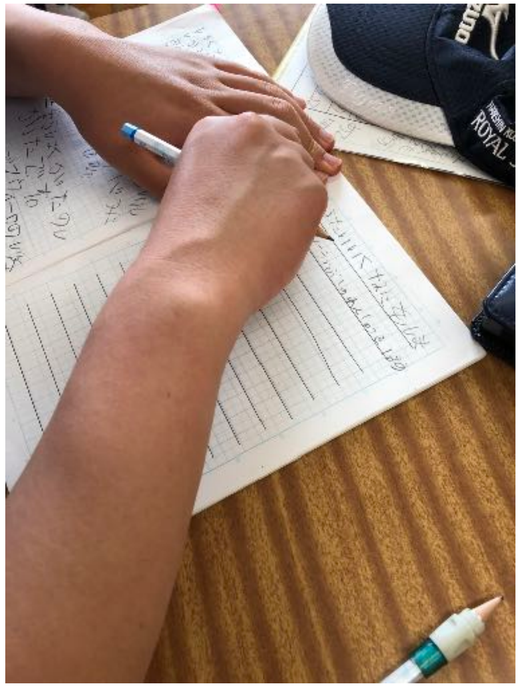
- 筆談、VOCA・タブレット型端末による代替





精神的に難しい

- 絵カード、筆談、VOCA・タブレット型端末による代替

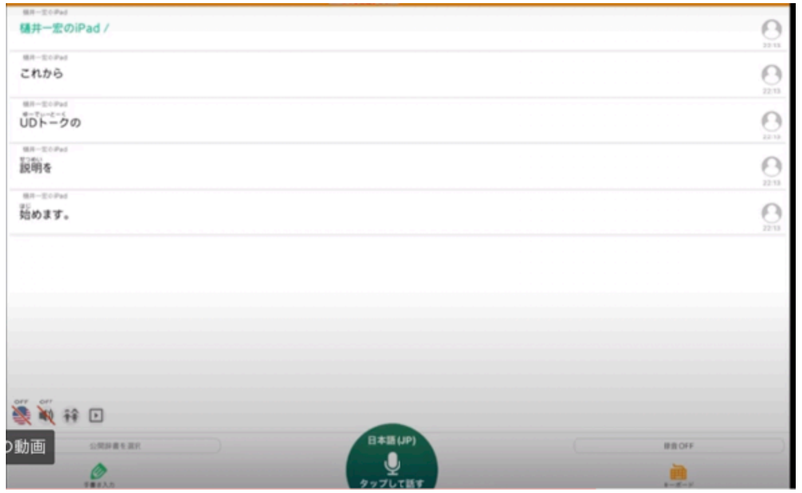


聞くことに課題のある生徒

- 視覚情報の方が理解しやすい
- 複数の音の中から聞くべき音を選択することが難しい
- 指示が誰に向けたものかを理解するのが難しい

聞くことに課題のある生徒

- 板書、UDトーク（文字起こしアプリ）などによる情報保障



- 環境を整える

- 「〇〇さん」など注意を促してから指示

劇行事における背景作り

- 劇行事の台本を読み内容理解
- 美術で背景作り
- 自立活動でプレゼンテーションアプリKeynoteを使って動く背景作り
- 読み取った場面を背景としてどう表現するか
- 友だちと相談して、協働して、学び合う

俳写

- 文字＋写真による表現

- 決められた文字数の中で語彙を選択する（言い換え）

社会との関わり

- 「社会」って難しい
- ニュース「DropNews」

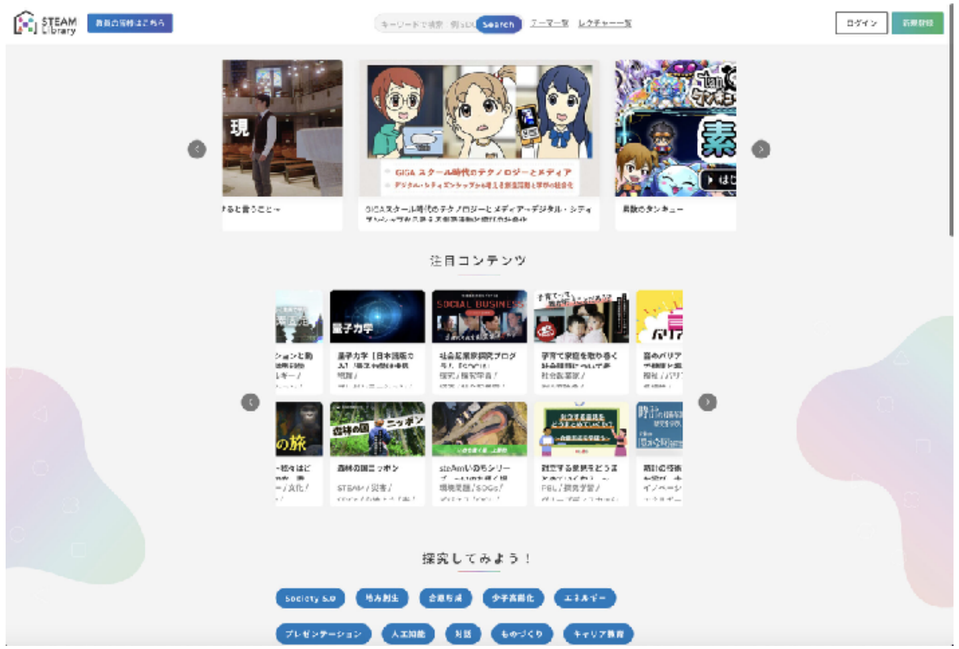
- 自分で情報を得る習慣
  きっかけが必要。新聞？TV？インターネット？
  触れたことがあるって大切。

デジタルシティズンシップ

- ICT機器やインターネットに全く触れない生活は難しい。
- 「禁止」ではなく、より善く使う。
- 大人が使うように使えること
- 隠さず「相談できること」

経済産業省が仕掛けるSTEAM教育の教材サイト。

「STEAMライブラリー」



まとめ

自立活動

学校生活全般にわたって取り組むべきもの

実態把握に基づいて

苦手なことも

○○があれば

□□の練習をしたから

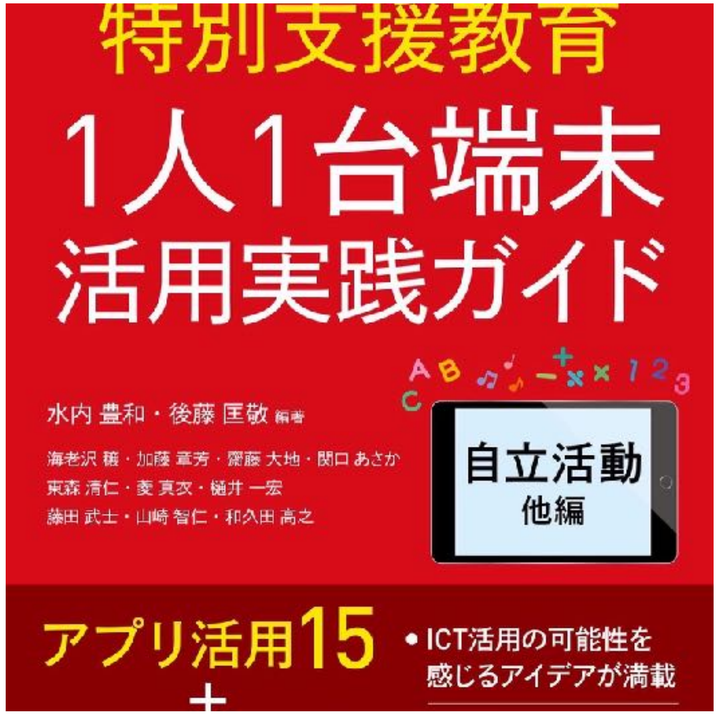
△△の場面なら

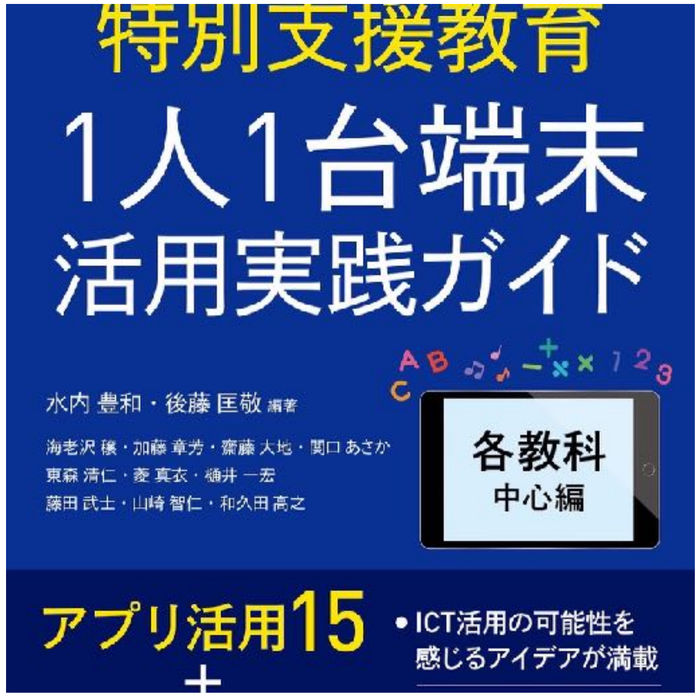
なりふり構わず幸せになって欲しい

ありがとうございました

特別支援教育が特別じゃなくなる日を

ICT機器を活用するなら





明治図書
「特別支援教育1人1台端末
活用実践ガイド」

おまけ

HP『ダッシュニンの特別支援教材室』

特別支援教育に関する教材や、研修資料、
役立つアプリなどを紹介

地域支援室　公式YouTube

動画を見ながら一緒にできるストレッチやFBM、ST動画や
校内研修を配信

YouTube ダッシュニン　チャンネル

「朝の会」
「特別支援教育×〇〇」をテーマに
ラジオ形式で配信

よければ使ってね・・・＃特別支援教育が特別じゃなくなる日を